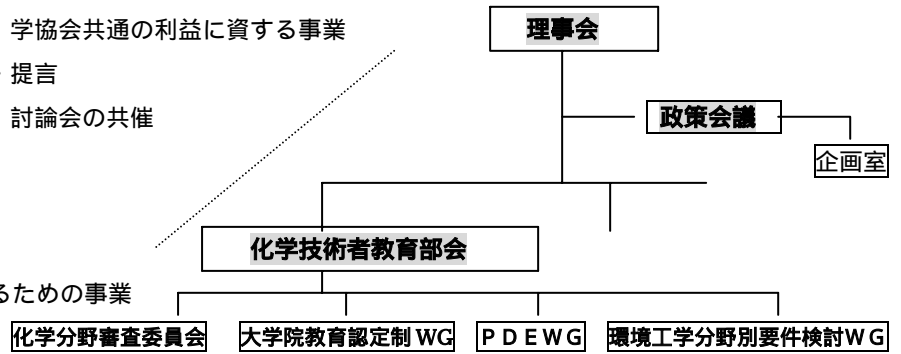


1968 (昭和43)年発足

〔目的〕学協会相互の連絡を密にし、協力してわが国の化学及び化学を利用する産業の進展に寄与する。

〔事業〕目的達成に向けて、学協会共通の利益に資する事業

1. 共通する政策の立案・提言
2. 研究発表会、講演会、討論会の共催
3. 教育・人材の育成
4. 情報の発信
5. 業務の連絡・提携
6. その他目的を達成するための事業



1999 11月【JABEE発足】

2000 1月 化学分野教育プログラムWG

平成十二年

4月：6学協会長会

5月：学協連会議

8月：学協連会議

兼 <理事会制移行>

第1回理事会

11月

【化学系学協会刊行フォーラム発足】

- ・あるべき技術者像の検討
- ・化学分野プログラム基準の作成 (特に、応用化学分野を含める)

- ・分野別要件がJABEEで承認 (応用化学・化学工学の2コース制)

政策会議発足

- ・企画室設置
- ・アンケート (2件実施)

平成十三年

2001 The Chemical Record 創刊

1月：第2回理事会

4月：第3回理事会

10月：第4回理事会

化学技術者教育部会 改組

- ・審査員推薦・養成
 - ・試行希望校募集・調整
- 実務部隊として『化学分野審査委員会』設置
- ・10校12プログラム試行実施
 - ・本格審査実施

政策会議中間報告

平成十四年

2002 1月：第5回理事会

4月：6学協会長会(予備打合せ)
5月：6学協会長会事務局長打合せ

- ・4校5プログラム試行実施
- ・本格審査実施
- ・化学分野審査員研修会、他

政策会議2001年度報告

具体化に向け企画室調査継続

平成十五年

2003 1月：6学協会長会事務局長打合せ

2月：第6回理事会

実務部隊として『化学分野審査委員会』及び、『大学院教育認定制度WG』『PDEWG』『環境工学分野別要件検討WG』を設置

2004

2月：第7回理事会

- ・化学分野審査員研修会
- ・本格審査、中間審査、環境分野試行実施
- ・4プログラム相談・助言実施、他